

# 平成24年度 事業計画書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

2月の政府月例経済報告では、「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。」とし、日銀札幌支店の同月の金融経済概況では、「全体感において、道内の景気は横ばい圏内で推移している。」と報告された。

全国的には、景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されるが、先行きにはデフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然残り、道内景気も持ち直しの足取りは鈍く不透明感が残るなか、市内中小企業の景況感も依然厳しいまま推移している。

こうした背景から、平成24年度においても新規企業の積み上げには引き続き厳しい状況が予測されるが、目標を達成すべく財団役員一丸となって加入促進活動に取り組んでいきたい。

福利厚生事業においては、前年度実施した会員アンケートの回答結果を踏まえ、会員ニーズに沿ったより魅力ある事業展開を図ることとし、退職金等共済事業においては、積立金の安全・確実な運用を柱に健全な運営に努める。

また、新公益法人制度への対応については、公益法人への移行に必要な諸準備を着実に進め、公益認定等審議会への事前相談での見通しを踏まえて、認定申請に向けた機関決定を経て、平成24年度中の申請を目指す。

加えて、財団の運営と業務推進のあり方について、有識者の意見を求める委員会を設置し、公益法人化に向け、財団運営体制の強化を図る。

## 重点的な取組み

### ○ 会員加入促進活動

- ・未加入企業等へのダイレクトメール発送
- ・業界団体等への訪問
- ・委託生命保険会社との連携強化
- ・制度PRの継続強化(ラジオ広報、札幌市地下街などのメガビジョン放映及び「地下鉄大通駅電飾看板広告」掲示、雑誌等広告掲載)

### ○ 福利厚生事業

- ・既存事業の充実
- ・指定施設の拡充
- ・会員アンケートを踏まえた事業展開の取り組み

### ○ 新公益法人制度

- ・平成24年度中の公益認定申請に向けた対応
- ・新たな機関設計及び定款作成・関係規程類の整備
- ・新新会計基準への移行

### ○ 退職金等共済事業

- ・退職積立金の安全・確実な運用の維持

## 1. 会員数、企業数の見通しについて

平成23年度は、東日本大震災の影響から道内経済も大きな打撃を受け、会員加入には極めて厳しい環境となった。加入者数は、当初計画を200人上回る8,700人となる見込みであるが、退会者数は、大口退会もあったことから、前年度を大きく上回る10,700人が見込まれ、年度末会員数は、72,541人（対前年度比2,000人減）となる見通しである。

平成24年度は、復興需要など景気の回復基調が見込まれているが、長引くデフレや円高などの下押し要因もあり、中小企業を取り巻く経営環境は引き続き厳しいことが予想される。

このことから、平成24年度の企業数、会員数は、減少するものと見込まざるを得ず、企業数で8,650社（対前年度比170社減）、会員数で71,341人（同1,200人減）と推計した。

## 2. 福利厚生事業

- (1) 慶弔金等贈呈事業については、会員数の減少に応じ、件数では前年度予算に比べ、5.4%減の18,710件、金額では6.3%減の259,100千円を計上した。
- (2) 厚生事業については、限られた予算のなかで会員ニーズに応えるべく、既存事業の見直しを進めるとともに指定施設の拡充を図っていくこととし、これにより、厚生事業の参加予定者総数を約348,000人と見込み、事業費として127,380千円を計上した。
- (3) 融資あっせん事業については、市中金利の状況を踏まえ、3資金の貸付金利を据置くとし、77,400千円の原資をもとに、144,815千円の融資枠を設定した。

## 3. 退職金等共済事業

- (1) 退職積立金の安全・確実な運用を維持する。
- (2) 退職掛金収入については、会員数の減少等により、前年度予算より101,000千円減の3,944,200千円を計上した。一方、退会に伴う退職金等共済給付費用支出は、平均給付額の減少により、前年度予算よりも344,500千円減の4,505,000千円を計上した。
- (3) 退職金等共済積立資産運用収入については、平均運用利回りの若干増により、前年度予算より3,900千円増の353,700千円を見込んだ。

## 会員等の推移

### ・ 会員の推移

(単位:人)

年 度	期首会員数	会員加入数	会員退会数	期末会員数	対前年増減
19年度	77,787	10,283	10,715	77,355	△432
20年度	77,355	9,873	10,215	77,013	△342
21年度	77,013	9,272	10,971	75,314	△1,699
22年度	75,314	9,061	9,834	74,541	△773
23年度見込	74,541	8,700	10,700	72,541	△2,000
<b>24年度見込</b>	<b>72,541</b>	<b>8,700</b>	<b>9,900</b>	<b>71,341</b>	<b>△1,200</b>

### ・ 会員企業の推移

(単位:社)

年 度	期首企業数	加入企業数	退会企業数	期末企業数	対前年増減
19年度	9,922	377	625	9,674	△262
20年度	9,674	422	629	9,467	△207
21年度	9,467	445	566	9,346	△121
22年度	9,346	408	632	9,122	△224
23年度見込	9,122	360	662	8,820	△302
<b>24年度見込</b>	<b>8,820</b>	<b>430</b>	<b>600</b>	<b>8,650</b>	<b>△170</b>

福利厚生事業

(1) 慶弔金等贈呈事業

会員と家族の慶事等をお祝いし、また傷病、災害等の際し、お見舞い等をするため、慶弔金等贈呈事業を行う。

なお、贈呈金額は従前どおりとする。

贈呈項目	贈呈金額（1件あたり）	平成24年度贈呈見込件数
成人祝金	5,000円	140件
結婚祝金	加入年数3年未満	20,000円
	” 3年以上	30,000円
出産祝金	20,000円	1,730件
入学祝金	10,000円	3,570件
永年勤続慰労金	勤続満 5年	5,000円
	” 10年	10,000円
	” 15年	15,000円
	” 20年	20,000円
還暦祝金	10,000円	1,410件
銀婚・金婚祝金	銀婚	20,000円
	金婚	30,000円
傷病見舞金	20,000円	630件
災害見舞金	損害の程度に応じ 3段階の見舞金	50,000円 30,000円 10,000円
死亡弔慰金	会員本人	50,000円
	会員の配偶者及び子	30,000円
	会員の父母	20,000円
	会員の配偶者の父母(同居)及び死産	10,000円
計		18,710件

(2) 福利厚生事業

会員と家族の余暇の充実、元気の回復、生活の安定等に役立つよう、次の福利厚生事業を行う。

健康づくりとスポーツ・レクリエーションへの参加を支援する事業

区分	事業名	平成 24 年度参加見込数
主催事業	野球大会（80 チーム）	1,600 人
	パークゴルフ大会	150 人
	ゴルフ大会	100 人
	ボウリング大会	130 人
	子ども野球教室	100 人
	こどもサッカー教室	120 人
入園料金等助成事業	円山動物園他道内 6 9 ヶ所のレク・娯楽施設の入園	120,663 人
	コンサドーレ・ファイターズ等スポーツ観戦	22,300 人
	市民マラソン等スポーツ大会参加	700 人
	スキーリフト使用・スキーランチパック（22 ヶ所）	21,500 人
	スケートリンク入場（4 ヶ所）	160 人
	スキー・ゴルフスクール（2 ヶ所）	76 人
	スポーツクラブ入場（2 ヶ所）	39,000 人
	プール入場（10 ヶ所）	12,500 人
	ボウリング場入場（7 ヶ所）	7,200 人
	区民体育館等入場（18 ヶ所）	10,200 人
	ゴルフ場利用（7 ヶ所）	250 人
	パークゴルフ場利用（15 ヶ所）	5,400 人
	スポーツ奨励	100 人

旅行や文化・芸術・趣味等を通じて心身のリフレッシュを支援する事業

区分	事業名	平成 24 年度参加見込数
主催事業	ファミリーレクバス	874 人
	年忘れ演芸会	2,200 人
	ニューイヤーコンサート	2,000 人
	芸術文化鑑賞事業	2,000 人
	親子レクリエーション	250 人
料金等助成事業	国内旅行参加	2,850 人
	海外旅行参加	30 人
	指定保養施設等利用 ( 18ヶ所 )	2,400 人
	映画館入場 ( 10ヶ所 )	41,700 人
	観劇・音楽会・美術展入場	14,500 人
	テーブルマナー教室参加	130 人
	音楽・美術定期会員	120 人

自己啓発や生涯学習の充実を支援する事業

区分	事業名	平成 24 年度参加見込数
受講料等助成事業	経営等セミナー	250 人
	生涯学習講座	170 人
	介護講座	20 人
	クッキングスクール	140 人
	ガーデニング講習会	200 人
	手工芸講習会	30 人

健康の維持・増進を支援する事業

区分	事業名	平成 24 年度参加見込数
受診料助成事業	指定施設（21ヶ所）による	
	定期健康診断（・・・コース）	10,300人
	人間ドック（1泊2日・日帰り・パブリックコース）	1,610人
	部位ドック（大腸がん・骨・心臓・脳・肺がん・乳がん・子宮がん・大動脈血管・PET単独検査）	340人

従業員及び経営者の永年勤続等表彰事業

区分	事業名	平成 24 年度参加見込数
主催事業	被表彰者（30年・40年以上）	70人

生活の安定・充実に支援する事業

ア 融資あっせん事業

資金名	融資限度額	返済期間	融資利率(年利)	取扱金融機関
文化厚生資金	50万円	3年	1.60%	北洋銀行 北海道銀行
奨学資金	150万円	5年	1.40%	
マイカー購入資金	200万円	5年	1.98%	

貸付時に別途保証料がかかる。

イ 割引指定店

指定店数 60 業種、400 店予定

野球場の管理運営事業

会員用軟式野球場 2 面（厚別区山本、敷地面積：53,680 m<sup>2</sup>、駐車場を含む。）の管理運営を行う。なお、会員の未利用時には、市民に開放する。（利用見込数 9,000 人）

会員利用料金：2 時間 1,000 円

市民利用料金：2 時間 2,000 円